科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
総合英語講読	3	3	なし	SKYWARD Ocean course 2 nd Edition (桐原書店) Listening Laboratory Advanced (数研出版)

到達目標

Reading、Writing、Presentation および debate 等の力を育みながら、テキストの内容について発展的な理解をすることができるようになる。

また、継続的な問題演習によって英語学習の習慣化を図り、各種検定試験等に向けた取り組みを自発的にこなせるようになる。

評価の観点	評価の内容
a コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
b 外国語表現の能力	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。
c 外国語理解の能力	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
d 言語や文化についての知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。

評価の方法

課題の取り組み状況、確認テスト、リスニング、プレゼンテーションなどによる評価を行います。定期考査はありません。

年間指導計画

前期					後期												
月	予定 時数	学習内容	評価の観点				月	予定 時数	学習内容	評価の観点							
			a	b	c	d				a	b	c	d				
4	15	Unit 1 旅行	○	○	○	○	10	30	総合問題演習	○	○	○	○				
		Unit 2 環境	○	○	○	○											
		Unit 3 心理学	○	○	○	○											
		Unit 4 衣食住	○	○	○	○											
5	15	Unit 5 人体	○	○	○	○	11	30		総合問題演習	○	○	○	○			
		Unit 6 宇宙	○	○	○	○											
		Unit 7 言語	○	○	○	○											
		Unit 8 商業	○	○	○	○											
6	15	Unit 9 生物学	○	○	○	○	12	30			総合問題演習	○	○	○	○		
		Unit 10 歴史	○	○	○	○											
		Unit 11 健康	○	○	○	○											
		Unit 12 工業	○	○	○	○											
7	15	Unit 13 コミュニケーション	○	○	○	○	1	30				総合問題演習	○	○	○	○	
		Unit 14 科学技術	○	○	○	○											
		Unit 15 日常生活	○	○	○	○											
		Unit 16 社会	○	○	○	○											
8	15	Unit 17 医療	○	○	○	○	2	30					総合問題演習	○	○	○	○
		Unit 18 会話	○	○	○	○											
		Unit 19 ノンフィクション	○	○	○	○											
		Unit 20 情報社会	○	○	○	○											
9	15	Unit 17 医療	○	○	○	○	3	30	総合問題演習					○	○	○	○
		Unit 18 会話	○	○	○	○											
		Unit 19 ノンフィクション	○	○	○	○											
		Unit 20 情報社会	○	○	○	○											
							計	105									

*原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

履修上および学習上の留意事項

- ・適宜課題や確認テストを課します。継続的な取り組みをしていきましょう。
- ・Presentation や debate などの言語活動を行いますが、基本的に大学入試を見据えた活動です。
- ・予習復習を徹底し、授業の効果を最大限に高めてください。授業を受けっぱなしでは学習成果が表れにくいです。